



F.P.JOURNE
Invenit et Fecit

QUANTIÈME PERPÉTUEL

視認性と操作性に優れたF.P.ジュルヌ 瞬時切り替え式パーペチュアルカレンダー

18世紀に入ると天文時計は次第に日付表示とムーンフェイズ機能を備えた時計に取って代わられました。これら初期のカレンダーウォッチは全てアニュアルカレンダーで、31日に満たない月は手動で日付を送っていました。その後、永久カレンダーが開発され、4年に一度のうるう年の2月29日は自動的に認識されることとなり、時計師たちの長年の夢がかなったのです。永久カレンダーは大変機能的で優れた技量を発揮できるだけでなく、時計製作における芸術なのです。

永久カレンダーは28、29、30と31日などの月の長短、うるう年の計算を自動的に行います。この機能を動かすためには1461日をカウントできなければなりません。通常永久カレンダーのムーブメントは日付切替ギア装置を備えており、筒車や何百にも及ぶパーツ、歯車やレバーなどで構成されています。このうるう年を認識できる永久カレンダーは、48ヵ月分の切り欠きを備えたディスクを使用することで4年に一度、2月29日から3月1日も自動的に送ることができるのです。

永久カレンダーという名前にも関わらず、実は2100年3月1日に一日だけ修正しなければなりません。これは機構によるものではなく、1582年に制定された世界標準の暦、ユリウス暦によるものです。ユリウス歴では西暦年数が4で割り切れる年をうるう年としていますが、100で割り切れ、かつ400で割り切れない年をうるう年としていないからです。

オクタ・コレクション9番目のF.P.ジュルヌの瞬時切り替え式パーペチュアルカレンダーは、通常の永久カレンダーと比較して非常に優れた視認性を誇ります。12時位置の2つの大型の窓に曜日と月をそれぞれ表示、またF.P.ジュルヌの特徴の一つでもある大型日付表示も6時位置に備えます。このF.P.ジュルヌの瞬時切り替え機構は動力を蓄積し、月末に日付、曜日、月が代わる際に開放され、日付を送ります。この独自の機構はデジタル表示の限定モデル“ヴァガボンダージュII”に搭載されたものと同じです。装飾的には素敵ですがあまり使われることのないムーンフェイズは、今回視認性を高めるためにあえて採用していません。

また通常永久カレンダーの操作は難しいと言われていますが、操作方法も通常のものとは異なりとても簡単です。基本的に全ての操作は3ポジションを持つリユーズで可能です。ただし、手動で月の表示を切り替える場合は、1時位置のラグの下に保護され隠されたレバーを使って修正します。誤った操作をしてしまった場合でも特別なツールを使うことなくして操作が可能なのです。うるう年以外の1、2、3はセンターの時分針の下に黒字で、うるう年は赤字で表示されます。

このモデルの自動巻きムーブメントはF.P.ジュルヌの他のモデルと同様に18Kローズゴールドで製作されています。またオクタ・キャリバー1300.3は完成したムーブメントにあらかじめ1mmの空間を用意したことで、永久カレンダーという複雑な機構を組み込むことに成功しています。

F.P.ジュルヌの年間製作本数は900本弱と少数製作のため、同一キャリバーで新しいモデルを発表した際には既存のモデルを製作中止してきました。今回は年次カレンダーの“オクタ・カレンダー”が2013年をもって製作中止となります。“Quantième Perpétuel”はプラチナと18Kゴールドケース、ケースサイズ40mmと42mmで製作されます。文字盤はホワイトゴールドまたはローズゴールドです。

全世界の8つのF.P.ジュルヌブティックでお求め頂けます。

Paris - Geneva - New York - Miami - Boca Raton - Tokyo - Hong Kong - Beijing

技術仕様

ムーブメント

Cal.1300.3 18Kローズゴールド製
オフセンターに配置された22Kゴールド製ローター
片方向巻上げ式自動巻き

ムーブメントのサイズ

ムーブメント直径	33.00 mm
ケーシングした状態での直径	30.40 mm
ケーシングした状態での全高	5.20 mm
巻真までの高さ	1.80 mm
巻真のネジ部分の直径	S0.90 mm

バランスホイール

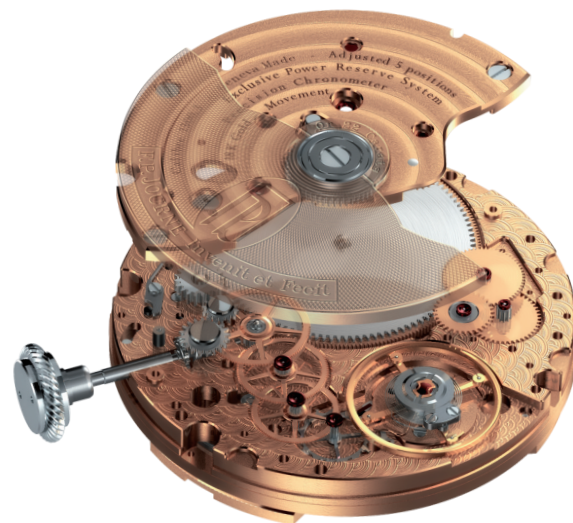
15枚の歯を持つガンギ車
4つのインナーシャウエイト
フィリップス曲線のヒゲゼンマイ
可動式ヒゲ持ち
フリースプリング
コレットはレーザーによって固定
ヒゲ持ちはピンによって固定
スリッピングアタッチメント付きゼンマイ
振動数： 21,600 v/h, (3Hz)
慣性質量： 10.10 mg*cm²
拘束角： 52°
振り角： 全巻時 文字盤上: > 300°
24時間後 文字盤上: > 220°
持続時間： 160 ± 12時間

表示

センターの時分針
文字盤中央のうるう年表示 (1,2,3は黒、うるう年の4は赤で表記)
12時位置の窓に表示された曜日、月
6時位置の窓に表示された大型日付表示
10時半位置に配置されたパワーリザーブ・インジケーター



装飾	ペルラージュ仕上げを施されたベースプレート コート・ド・ジュネーブ仕上げを施したブリッジ ネジは面取り、及び研磨仕上げ ブリッジの位置を決めるためのピンは研磨仕上げ スチール部品は面取り、及び研磨仕上げ
特徴	瞬時切り替え式永久カレンダー、片方向式巻き上げ自動巻き、 ポジション2で日付表示と曜日の同時調整 ポジション2（逆方向）で曜日のみ調整、月とうるう年はピンで修正
文字盤	ローズゴールド、ホワイトゴールド スターリングシルバー製インダイヤル 研磨されたスチールパーツ
ケース	プラチナまたはローズゴールド製 直径： 40.00または42.00mm 高さ： 10.8mm
部品点数	ムーブメント（文字盤含まず）：340 総部品点数（ケース、ストラップ込）：374 石数：37
全巻きまでの回転数	24時間で時計方向に274回転



Montres Journe Japon K.K. Collezione, 6-1-3 Minami-Aoyama Minato-ku Tokyo 107-0062

Presse Office: snakamura@fpjourne.com T +81 (0)3 5468 0931

fpjourne.co.jp